

※新たな調査で必要なデータをそろえ、令和8年度から始まる国の新たな計画とも足並みをそろえるため、数値目標は令和9年度に設定します。

そして、目指すべき観光地像の実現に向けて、取組の成果や進み具合を分かりやすく確認できるように、数値目標を設定します。

▶ 観光消費額

▶市民満足度

こうした好循環の土台となる市民の誇りや愛着を大切にするため、本計画では市民満足度を重要な指標として位置付けています。

皆様のアイデアやお気づきの点などがありましたら、ぜひご意見をお寄せください。

甲府市 観光振興基本計画



概要版

また、身近に楽しめる山や豊かな自然、「信玄の湯 湯村温泉」をはじめとする良質な温泉、甲府ジュエリーや甲州印伝などの伝統工芸、ほうとうに代表される地域に根付いた食文化、ぶどうやスイートコーンなどの豊かな農産物など、甲府市には多彩で魅力的な観光資源がたくさんあります。

こうした取組を通じて、訪れる人には「また来たい」、住んでいる人には「甲府市がもっと好きになる、自慢したくなる」と感じられるような観光地を目指します。



04 目指すべき観光地像と基本方針ごとの最重点事業・重点事業

➤ 目指すべき観光地像

ふるさとへの誇りが人々を惹きつけ、 住む人も訪れる人も幸せになるまち

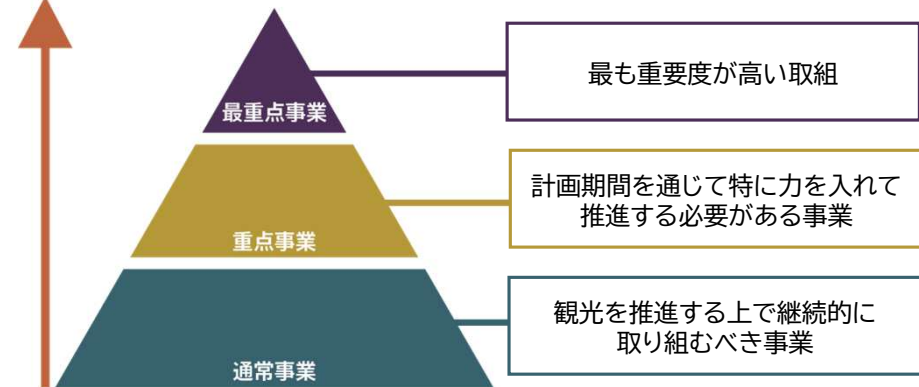
～宝石のように人々が輝き続ける山の都こうふ～

観光による一時的な賑わいだけではなく、市民一人ひとりが「ふるさと甲府」の魅力に誇りと愛着を持てるまちを目指します。

その想いがまちの魅力として広がり、住む人も訪れる人も幸せを感じられるまちを、未来につないでいきます。

そして、盆地を囲む山々の恵みの中で、人の魅力が宝石のように磨かれ、輝き続ける「山の都こうふ」を育てていきます。

優先度(高)



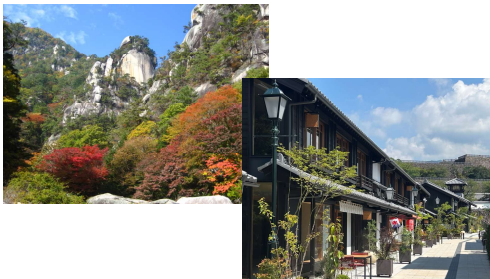
事業については役割や優先度に応じて、「最重点事業」、「重点事業」、「通常事業」の3つに区分し、限られた資源を効果的に活用しながら計画的に推進していきます。

基本方針

1 エリアごとの強みを引き出す 観光地づくり

- ★ 「信玄の湯 湯村温泉」再開発事業への支援
- ★ 「日本遺産 御嶽昇仙峡」の取組による地域活性化
- こうふ亀屋座・小江戸甲府花小路を活用した賑わいの創出
- 甲府城の活用及び周辺地域の活性化
- まち歩きを推進
- リニア山梨県駅(仮称)周辺のまちづくりの検討

それぞれのエリアが持つ魅力や特色を活かしながら、施設整備や観光コンテンツの充実を進めます。
こうした取組により、甲府で過ごす時間をより豊かなものにし、滞在時間の延伸や観光消費額の増加につなげていきます。



基本方針

2 甲府の資源を最大限に活かした地域活性化と情報発信の強化

- ★ ジュエリーを活用した誘客と地域経済活性化
- ★ 魅力発信による「こうふFAN」の拡大
- 県央ネットやまなしによる山のぼり・まち歩きを促進
- 史跡武田氏館跡の復元公開・活用

甲府ならではの魅力をさらに磨き、体験を楽しめる観光コンテンツを充実させるとともに、効果的な情報発信を進めます。

こうした取組により、甲府を訪れる人を増やし、地域での消費の拡大につなげていきます。

基本方針

3 こうふ愛の醸成と市民参画による持続的な観光振興の推進

- こうふの魅力再発見事業
- こうふの魅力と共に生きる取組

甲府の自然や歴史・文化に子どもの頃から親しむ機会を充実させ、ふるさとへの理解と愛着を育みます。

あわせて、市民が観光に主体的に関わり、参加できる仕組みづくりを進めることで、地域全体で観光を支える意識を高めていきます。

基本方針

4 誰もが快適に過ごせる観光地づくりと交通環境の充実

- ★ 新たな交通手段の研究
- 県央ネットやまなしの取組

甲府を訪れる人が不便や不安を感じることなく、快適に過ごせる観光地づくりを進めます。

あわせて、国内外の誰もが安心して甲府で観光を楽しめるように、案内機能や交通環境の充実を図り、市内をめぐりやすい環境を整えていきます。

基本方針

5 観光を前進させる体制づくり

- 行政と観光関連団体の役割分担の整理と明確化

観光に関わるさまざまな主体が連携し、それぞれの強みを活かしながら取り組める体制づくりを進めます。

関係者が一体となって観光を前に進めることで、地域の活力を高め、まち全体の持続的な成長につなげていきます。